

令和3年12月26日から27日にかけての冬型気圧配置による大雪について (滋賀県の気象速報)

この資料は速報として取り急ぎまとめたものです。そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

概要

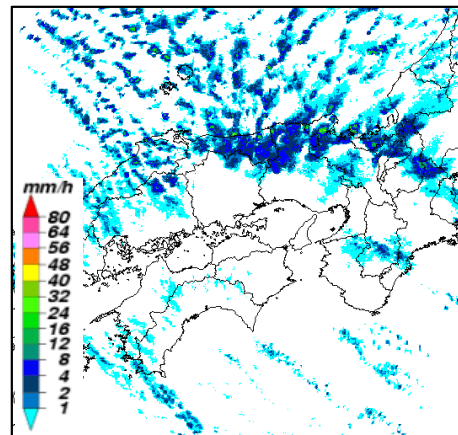
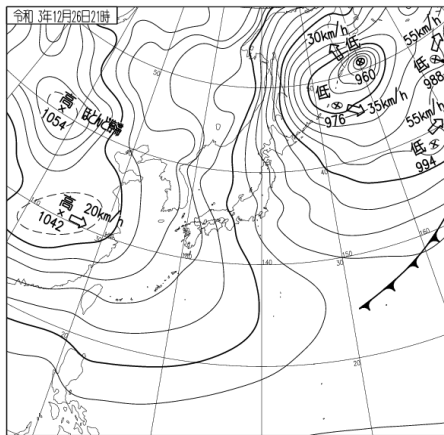
26日から27日にかけて、日本の上空約1500mには氷点下12度以下の寒気が流れ込み、日本付近は強い冬型の気圧配置となりました。

滋賀県では近江西部・湖北・湖東・東近江地域を中心に記録的な大雪となり、27日24時までの最深積雪は、彦根73cm、高島市今津77cm、米原市朝日69cm、長浜市余呉町柳ヶ瀬76cmを観測しました。彦根では27日05時までの24時間降雪量が68cmに達し、通年の1位の値を更新しました。また27日11時に高島市今津で77cm、27日06時に彦根で73cmを観測、日最深積雪の値が12月の1位を更新しました。

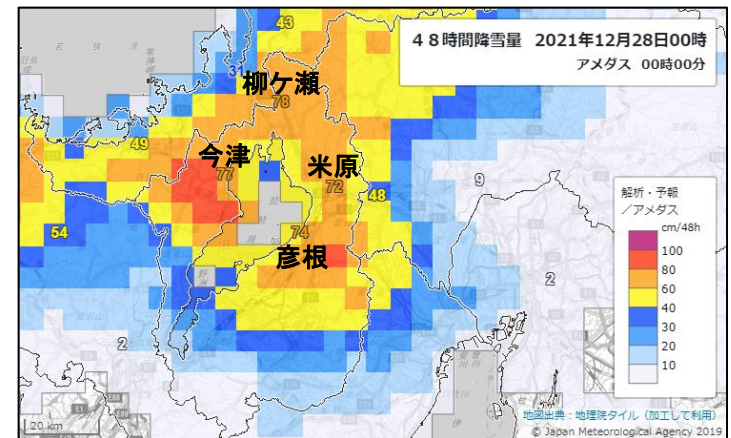
この大雪により除雪作業中の転倒・転落による負傷者12名、倒木などによる停電約560軒などの被害がありました(滋賀県調べ、12月27日16時現在)。

この大雪の対応として、彦根地方気象台は、26日06時04分以降、随時県内(近江西部・湖北・湖東・東近江)に大雪警報を発表するとともに、26日には大雪に対して一層の警戒を呼びかける気象情報を発表するなど、大雪への警戒を呼びかけました。

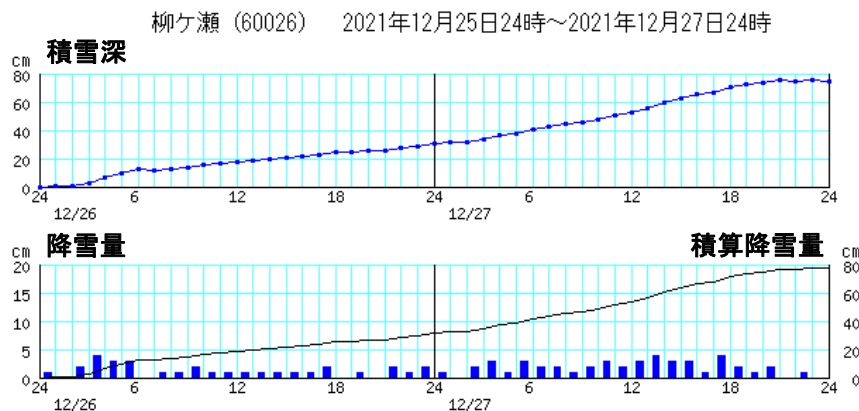
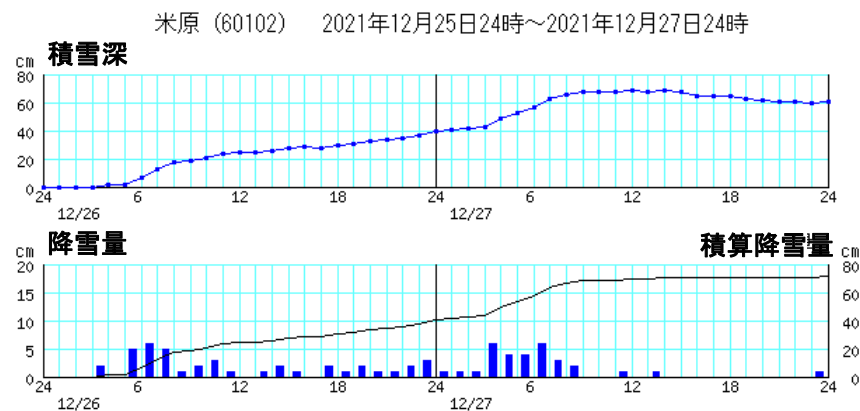
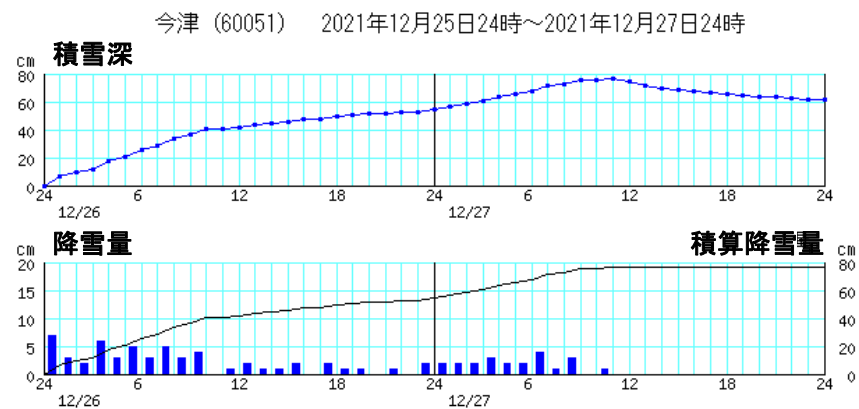
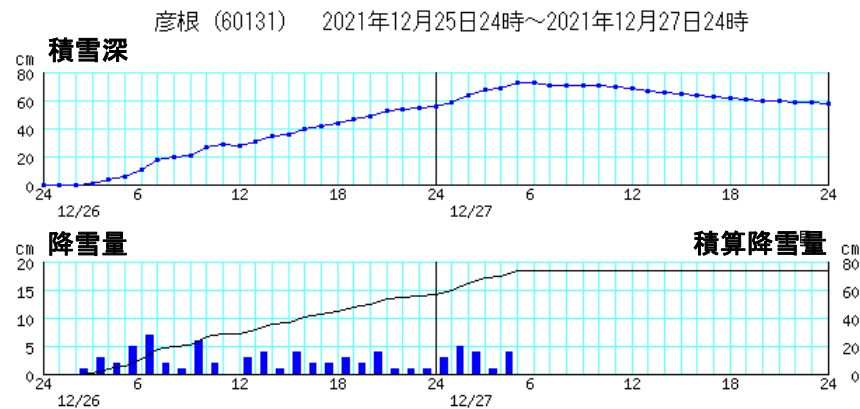
地上天気図・レーダー画像(26日21時)



解析降雪量(27日24時までの48時間降雪量)



アメダス時系列グラフ【積雪深と降雪量(12月26日00時～27日24時)】



※上段折れ線グラフは積雪深、下段の棒グラフは1時間降雪量(左軸)、折れ線グラフは積算降雪量(右軸)を示す。横軸は時刻を示す。

アメダス積算降雪量と最深積雪(26日00時～27日24時)

地点名	積算降雪量(cm)	最深積雪深(cm)
彦根	74	73 (27日06時)
柳ヶ瀬	78	76 (27日23時)
今津	77	77 (27日11時)
米原	72	69 (27日14時)